

石川南

回りを念入りに教えた。

こまつ歌舞伎

未来塾が総会

こまつ歌舞伎未来塾(小)

松市)の総会は17日、同市公会堂で開かれ、今年度事業計画を確認した。5月5、過去最多の46人が出演する

6日の日本こども歌舞伎ま

と報告された。

ついで、小松(北國新聞社特別協力)には、同塾から長野裕塾長、石田寛人相談方、和田慎司市長があいさつ。今年度は邦楽教室に舞踊コースを加え、歌舞

塾生はこれまで最多の計103人になると説明され

た。

回りを念入りに教えた。

こまつ歌舞伎

未来塾が総会

こまつ歌舞伎未来塾(小)

小松市の本折日吉神社と曳橋神社の春季祭礼である「お旅まつり」に向け、曳山子供歌舞伎や子供獅子の稽古が本格的に始まった。まつりは、市内で5月10、12日に開催される。

曳山子供歌舞伎

曳山子供歌舞伎を上演する京町は17日、同町会館で「稽古始めの儀」を行い、練習着「黄八丈」に身を包んだ子供役者が町民に大舞台への意気込みを示した。世話役「五人衆」の山岸克夫委員長、町内会の前多利彦副会長が激励。子供役者7人は「堂々と演じたい」「本番までに完璧にしたい」と順に抱負を述べた。子

本折日吉神社山王会館で

子供獅子

供役者を指導する市川四郎氏は「テンポの良い掛け合いで関西風の芝居の面白さを感じてほしい」と呼び掛けた。

17、18日、子供獅子の合同練習が行われ、各町の小中学生計約40人が伝統の舞や囃子の習得に励んだ。

同市龍助町の男性有志でつくる「龍助町大獅子」のメンバーが、獅子がチヨウと戯れる様子を表した立ち



お旅まつり 本番へ稽古本格化

本番への決意を述べる児童

華やかな獅子舞を練習する参加者

|| 小松市本折町



念仏踊

28日 蓮如-



蓮如上人御忌法要に向け、合同披露する「蓮如音頭」の練習に励む塩屋と吉崎の住民

|| 加賀市塩屋町

明覚上

五十音

山代温

にちなみ、五十音図表と日本語年表を作製した。温泉旅館などに配布し、外国人観光客に親しんでもらうほど、明覚上人が五十音図を作ったことを盛り込んだ。

誘客事業「あいうえおの郷構想」の一環で、いずれも500部用意し、小学校に配って授業での活用も視野に入れる。



明覚上人にちなんで作られた五十音図表と日本語年表(上)

美川南町 台車の車輪新調

おかえり祭りへ

藩政期の建造以来初



新調された車輪が取り付けられた美川南町の台車
=白山市美川浜町

筋」を担当することから取り換えることにした。

北村工務店(美川和波町)の北村稔代表が車輪の木材を加工し、北島仮壇製作所(美川新町)の4代目塗師北島昭浩さんが漆塗りを施した。車輪には耐久性の高い赤松を使用し、台車の重みに耐えられるよう、以前よりも直径と幅を1・5倍大きくし

ている。しかし、近年は車輪の傷みが目立ち、美川南町が来年、10年に1度巡ってくる神輿、台車が藤塚神社に帰る道筋「おかえり

た。

18日から関係者らが台車の欄干や階段などの組み立て作業を始めた。本番までに金箔の貼り直しがなども行う。作業を見守った美川南町台車管理委員長の吉井恵一さんは「住民の念願がかなった。気持ち新たに祭りを盛り上げていきたい」と意気込んでいる。

◆加賀会議所が記念誌が創立50周年記念誌を発行した。A4判、65ページで50年間の活動や創立50周年記念事業などが掲載されている。

小松市と日大芸術学部は23日、連携協力に関する包括協定を結ぶ。「日芸」は著名な脚本家や演出家、俳優を輩出しており、市は2023年春の北陸新幹線敦賀開業に向けたプロモーションで映像、音楽技術の協力を受け、市立高芸術コースの生徒との学術交流も進めたい考えだ。同日、和田慎司市長と木村政司学部長が協定書を交わす。

23日、小松市プロモーションで、日本語にちなんだ史実を法要で両地区の住民が披露するのは、東本願寺(京都)が蓮如上人500回



児童は、市国際交流員のダニエル・ヘリオットさんに手ほどきを受け、卵の表面を思い思いの模様で塗った。しんだ。